
MAKING THE IMAGE INTELLIGENT



2025年3月期 第3四半期

決算補足説明資料

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2025年2月13日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

会社概要	3
DMPのPurpose	4
2025年3月期 第3四半期決算ハイライト	
業績ハイライト	5
損益計算書	6
事業別／分野別売上高	7
貸借対照表	8
トピックス：次世代エッジAI半導体事業	9
2025年3月期 通期業績予想	10

世界有数のグラフィックスIPベンダーとしての創業以来の経験・知見を活かし、近年は**アルゴリズム・ソフトウェアからハードウェア**、並びに**エッジからクラウド**に亘る一貫したAIサービスの提供により、お客様や社会の課題解決に貢献しています

会社名	株式会社デジタルメディアプロフェッショナル (DMP)
設立	2002年7月 (2011年6月東証マザーズ上場, 2022年4月東証グロース移行)
所在地	東京都中野区
代表者	代表取締役会長兼社長CEO 山本 達夫
資本金	1,838百万円
連結従業員数	65名 (2024年3月31日現在)
特許数	35件
連結子会社	Digital Media Professionals Vietnam Company Limited

IPコアライセンス事業

- ・AI/GPU IPコアライセンス
- ・AIソフトウェアライセンス



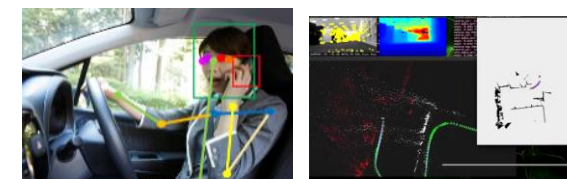
製品事業

- ・アミューズメント市場向け画像処理半導体
- ・協働ロボット向けビジョンシステム
- ・ドローン向けカメラモジュール



プロフェッショナルサービス事業

- ・AIアルゴリズム、コンピュータビジョンソフトウェア受託開発
- ・FPGA/ボード受託開発
- ・セーフティシステム、ロボティクスに係る顧客製品・サービス開発サポート



Making the Image Intelligent

画像を智能化する

"To create innovative products and services that harness the power of image intelligence to solve real-world problems and drive value for our stakeholders."

画像インテリジェンスの力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす革新的な製品とサービスを創造する

- **次世代エッジAI半導体**を開発中。2026年3月期量産開始、2026年1月事業（販売）開始予定
アミューズメント事業に続く長期的な事業基盤、成長エンジンに
- 売上高は前年同期比微減
半導体開発費の計上もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益

全社	事業別売上高	分野別売上高	
売上高	IPコアライセンス	セーフティ	ロボティクス
2,206 百万円 (YoY※ △4%)	74 百万円 (YoY △45%)	26 百万円 (YoY △36%)	118 百万円 (YoY +3%)
経常利益	製品	アミューズメント	その他
121 百万円 (YoY △142百万円)	2,055 百万円 (YoY △2%)	2,012 百万円 (YoY △0%)	48 百万円 (YoY △58%)
	プロフェッショナルサービス		
	76 百万円 (YoY +48%)		

※ YoY (Year on Year) : 前年同期比

エッジAI半導体の開発を含む成長投資を拡充

(単位：百万円)	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減額
売上高	2,292	2,206	△85
営業利益	261	121	△139
経常利益	264	121	△142
親会社株主に帰属 する四半期純利益	221	100	△121

- アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」の売上は堅調も、IPコアライセンス事業におけるメンテナンスサポート大型案件の剥落もあり、売上高は微減（3.7%減収）
- エッジAI半導体の開発費79百万円を含む研究開発費増により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益

● 事業別売上高

IPコアライセンス事業 **74百万円** 前年同期 135百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、セーフティ分野/ロボティクス分野における初期ライセンス、リカーリング収益、並びにメンテナンス・サポート収入等を計上
- 前年同期のGPU IP大型メンテナンス・サポート案件が剥落

製品事業 **2,055百万円** 前年同期 2,105百万円

- RS1の量産出荷、Cambrianビジョンシステム等の売上を計上
- RS1は第4四半期に売上拡大見込
- Cambrianビジョンシステムは製造インラインへの本格導入を含む製品納入や商談が進捗

プロフェッショナルサービス事業 **76百万円** 前年同期 51百万円

- AI受託開発サービス、アミューズメント向け受託開発サービス収入を計上
- 自律走行ロボット向けに加えて、半導体製造装置/建設機械向けプロフェッショナルサービスを提供

● 分野別売上高

セーフティ分野 **26百万円** 前年同期 41百万円

- ドライブレコーダー関連のリカーリング収益（ランニングロイヤリティ、サブスクリプションフィー）、メンテナンスサポート収入、プロフェッショナルサービス収入を計上

ロボティクス分野 **118百万円** 前年同期 115百万円

- プロフェッショナルサービス売上、Cambrianビジョンシステム等の製品売上等を計上

アミューズメント分野 **2,012百万円** 前年同期 2,018百万円

- 主にRS1の量産出荷売上を計上

その他分野 **48百万円** 前年同期 117百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、メンテナンス・サポート収入等を計上
- 前年同期のGPU IP大型メンテナンス・サポート案件が剥落

自己資本比率は85.8%と高水準を維持

(単位：百万円)		2024年 3月末	2024年 12月末	増減額	主な増減要因
	流動資産	3,272	3,261	△10	有価証券 △100 売掛金及び契約資産 +77
	固定資産	647	891	+244	無形固定資産 +153 投資有価証券 +103
資産合計		3,919	4,153	+233	
	流動負債	443	572	+128	未払金 +203 買掛金 +23 未払法人税等△43
	固定負債	18	18	+0	
負債合計		461	591	+129	
純資産合計		3,457	3,562	+104	利益剰余金 +100
負債・純資産合計		3,919	4,153	+233	

アミューズメント事業に続く長期的な事業基盤・成長エンジンとなる次世代エッジAI半導体を開発中

市場機会

- エッジAI市場は年平均成長率25%で2032年に700億ドル規模(出典:Global Market Insights)
- IoT普及、プライバシー保護、低遅延ニーズが追い風

競争優位性

- DMPのAIプロセッサ技術と戦略パートナーである台湾iCatchの画像処理技術の統合により、低消費電力、高性能、高いセキュリティ要件を実現
- エッジAI半導体としては世界初のFP4対応（2025年2月現在、当社調べ）となり、画期的な演算効率と処理性能を実現
- 短期間・低コストの開発によるAIモデル進化・陳腐化対応
- グローバルサポート体制、長期安定供給体制を確立

事業見通し

- 開発費 340万ドル、2026年3月期から量産開始、2026年1月販売開始予定
- 国内顧客の採用決定、顧客の量産システム開発をサポート中
- モビリティ、ロボティクス、スマートカメラ、スマートシティ、スマートファクトリー等の分野における幅広い顧客獲得、iCatchとのパートナーシップによる海外需要獲得を目指す



DMP
エッジAI推論半導体

5月14日公表の通期業績予想を修正

(単位：百万円)	2024年3月期 通期実績	2025年3月期通期業績			
		前回予想	今回予想	増減額	増減率
売上高	3,016	3,200	3,075	△125	△3.9%
営業利益	328	350	255	△95	△27.1%
経常利益	330	350	255	△95	△27.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	331	290	210	△80	△27.6%

- 第4四半期は、アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」の量産出荷の増量、GPUの新規ライセンス獲得を見込む
- 第3四半期に、将来の成長に向けた戦略的投資として期初予想に織り込んでいない次世代エッジAI半導体の開発費79百万円を販管費に計上したことを主要因に、通期業績予想を修正

<お問い合わせ先>

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 経営企画部

TEL:03-6454-0450

URL: <https://www.dmprof.com/jp/ir/>

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。